

## 研究室紹介

# 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

岡山県は、南部はなだらかな平野と瀬戸内海が広がり、中部は吉備高原などの丘陵地、また、北部は中国山地と盆地からなり、豊かな自然環境に恵まれた立地となっている。農業生産の面でみると、米の生産量が中四国1位であるほか、黒大豆、ブドウ、モモ、ナス、トマト、黄ニラ、リンドウ、スイートピー等地域の立地条件を活かした多品目にわたる農産物が生産されている。

なかでも、ブドウの生産量は全国4位（ピオーネ、マスカット・オブ・アレキサンドリアはともに全国1位）、モモは全国6位と果樹生産県としての地位を確立している。また、冬春ナス（促成栽培ナス）の生産量は中四国では高知県に次いで2位であり、高品質・高単価なナス生産が行われている。

農業研究所は、2010年の行政組織の改革で統合された岡山県農林水産総合センター内にあり、赤磐市（岡山県南東部）に設置されている。病虫研究室では、現在10名の研究員で岡山県の農作物で問題となった難防除病害虫の生態解明を行い、これに基づいた物理的、耕種的、生物的防除技術の開発に努めている。さらに、これらの技術を駆使し、化学農薬を削減した環境に優しい病害虫防除対策技術の確立することを目的とした様々な試験研究を行っている。併せて、新規の農業登録のための薬剤試験や薬剤感受性試験のほか、県下の各産地から持ち込まれた農作物の病害虫診断を実施し、現場の問題解決を支援している。また、病虫研究室には、病害虫防除所が併置されており、効率的な発生予察業務も行っている。

### 1 これまでに取り組んだ主な研究成果

これまで、主要品目における主な試験研究成果には以下のものがあげられる。

#### ①ブドウ：

- ・黄色灯によるモモノゴマダラノメイガ防除
- ・クビアスカシバの防除対策
- ・天敵（ミヤコカブリダニなど）によるハダニ類防除

#### ②モモ：

- ・黄色・緑色灯によるモモノゴマダラノメイガ防除
- ・スギ・ヒノキ花粉飛散数を利用した果樹カメムシ類発生予測

#### ③ナス：

- ・天敵や天敵温存植物を利用したミナミキイロアザミウマ防除
- ・ナスすすかび病の防除対策

#### ④トマト：

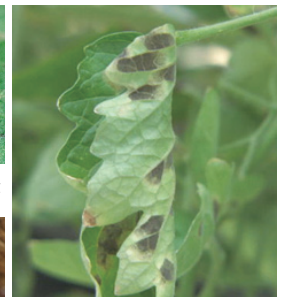
- ・トマトかいよう病の防除対策
- ・トマトすすかび病・葉かび病の防除対策

### 2 現在取り組んでいる主な研究内容

- 現在では、
- ・簡易被覆ブドウにおける晩腐病の防除対策



アザミウマ類の天敵タバコカスミカメ



トマトすすかび病



ブドウコナカイガラムシ類



ブドウ晩腐病



電子顕微鏡による病害虫診断

- ・施設ブドウのコナカイガラムシ類防除体系の確立
  - ・モモ急性枯死症状の発病要因の解明（令和2年度農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究（果樹等の幼木期における安定生産技術の開発））
  - ・イチゴの天敵利用栽培における微小害虫防除体系の確立
  - ・主要病害虫の薬剤感受性の実態解明と有効薬剤の選抜
  - ・農作物障害診断アシストシステムの開発
- 等の課題に取り組んでいる。

当研究室では、現地で問題となっている喫緊の課題解決や普及指導員の診断スキル向上支援等県産農産物の安定生産に向けた取り組みを職員一丸となって行っている。

最後に、農業研究所および病害虫防除所のHPのアドレスを以下に掲載しますので、是非ご覧ください。よろしくお願いいたします。

岡山県農林水産総合センター農業研究所 HP  
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/235/>



岡山県病害虫防除所 HP  
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>



（室長 長森茂之）